



共に学び・共に成長する場

—お茶の水女子大学附属図書館：小さなスケールのデザイン例—

平成25年度後期LA科目

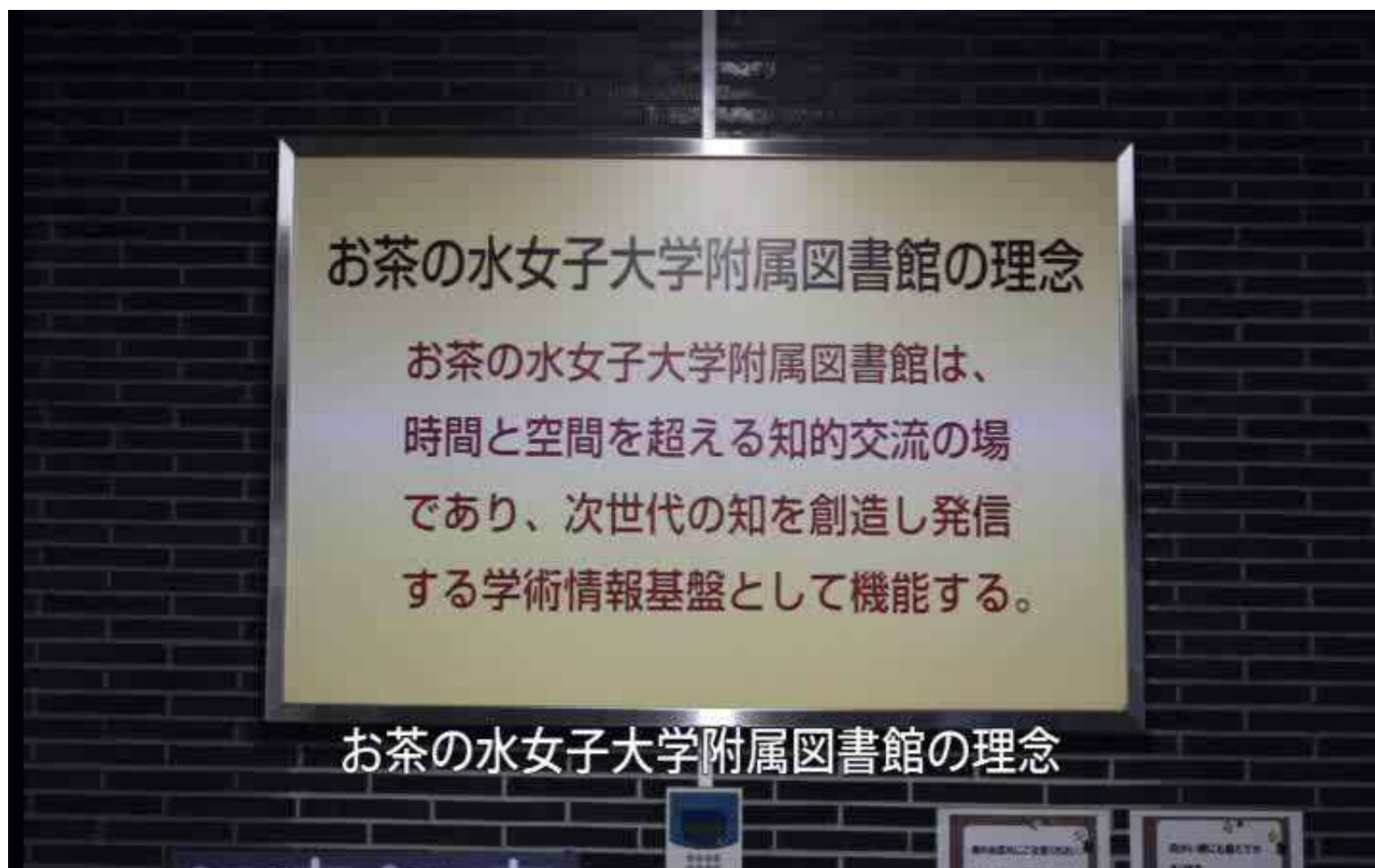
知覚認知と環境デザイン（第4回）

平成25年10月28日（月）

お茶の水女子大学 図書・情報チーム 森 いづみ



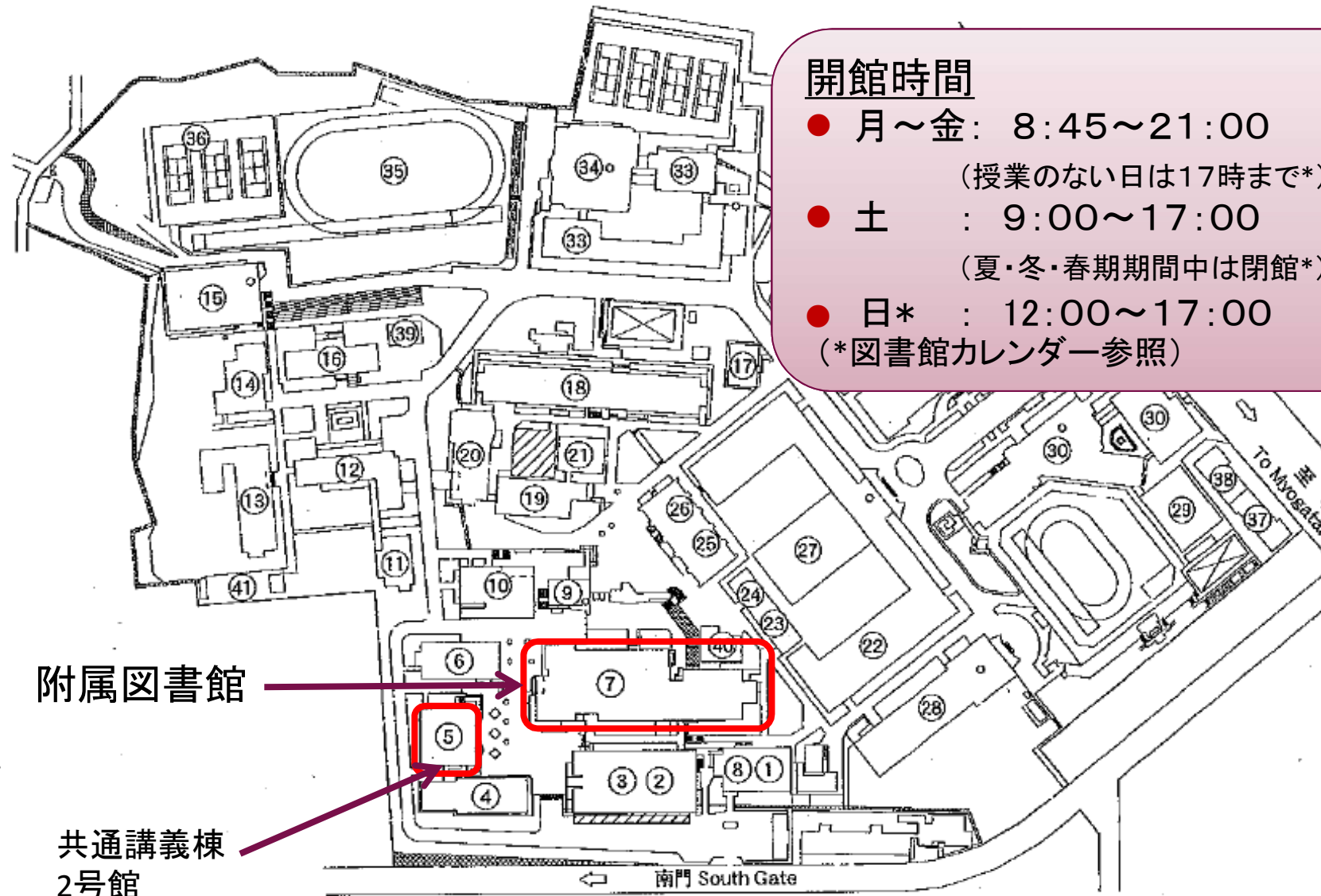
お茶大図書館のご紹介(動画)



皆さんに質問です(1)

- 図書館の中に、お気に入りの場所がありますか？
 - Yes／No
 - それはどこですか？
 - どうしてお気に入りなのですか？

図書館の場所と開館時間

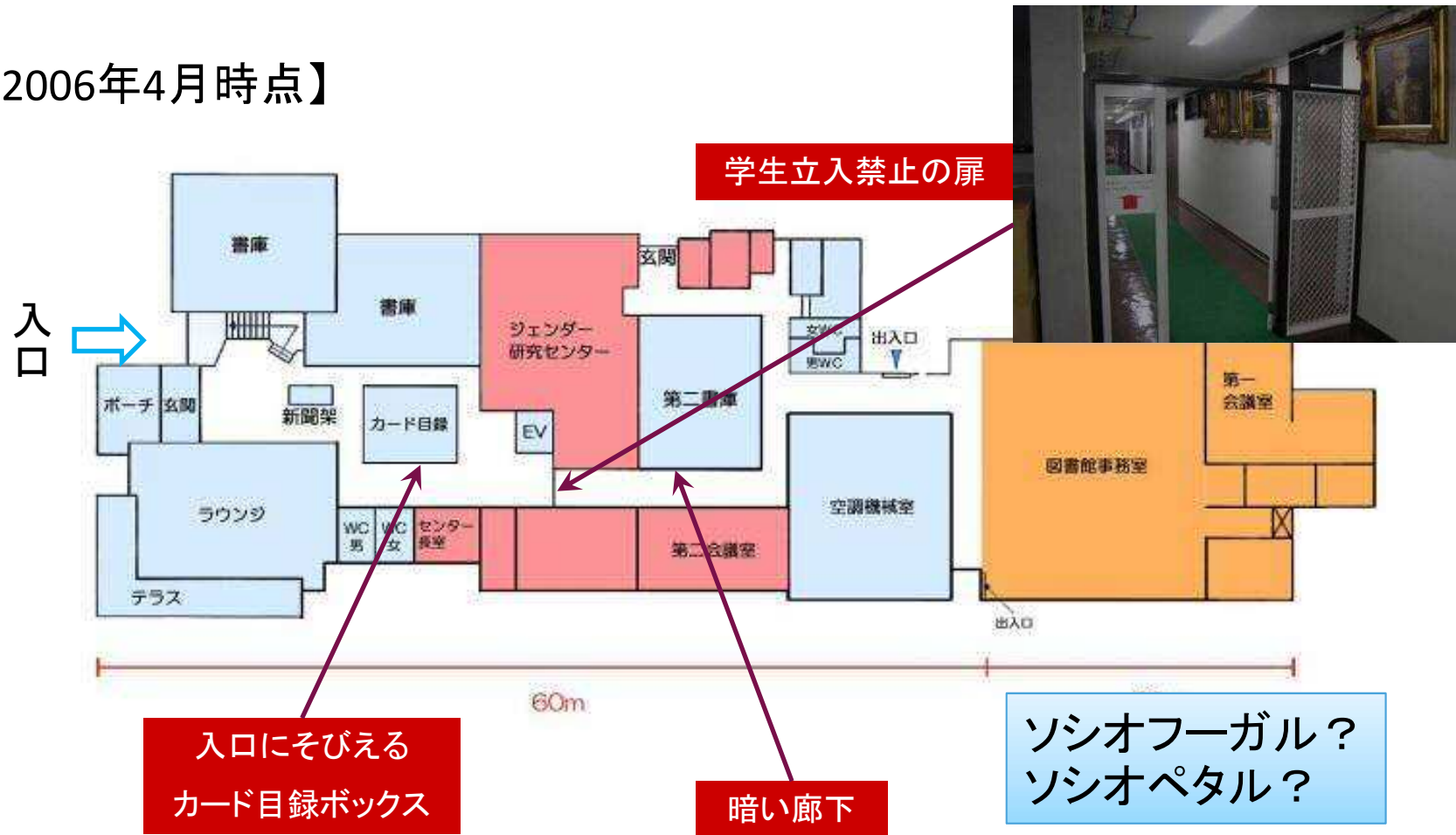


開館時間

- 月～金： 8:45～21:00
(授業のない日は17時まで*)
- 土： 9:00～17:00
(夏・冬・春期期間中は閉館*)
- 日*： 12:00～17:00
(*図書館カレンダー参照)

図書館の改修＝「壁」を壊した図書館-1

【2006年4月時点】

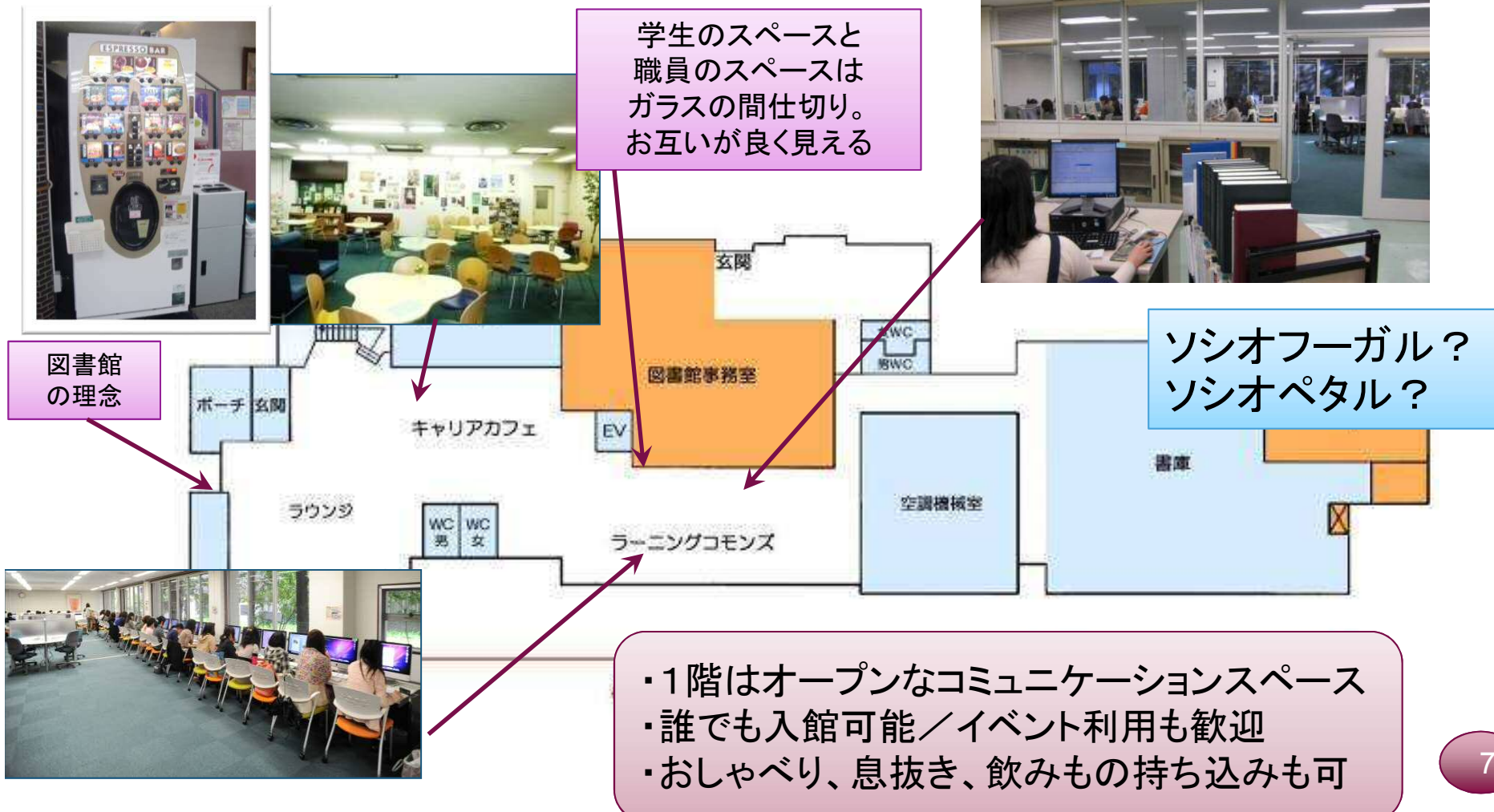


カード目録ボックスって？

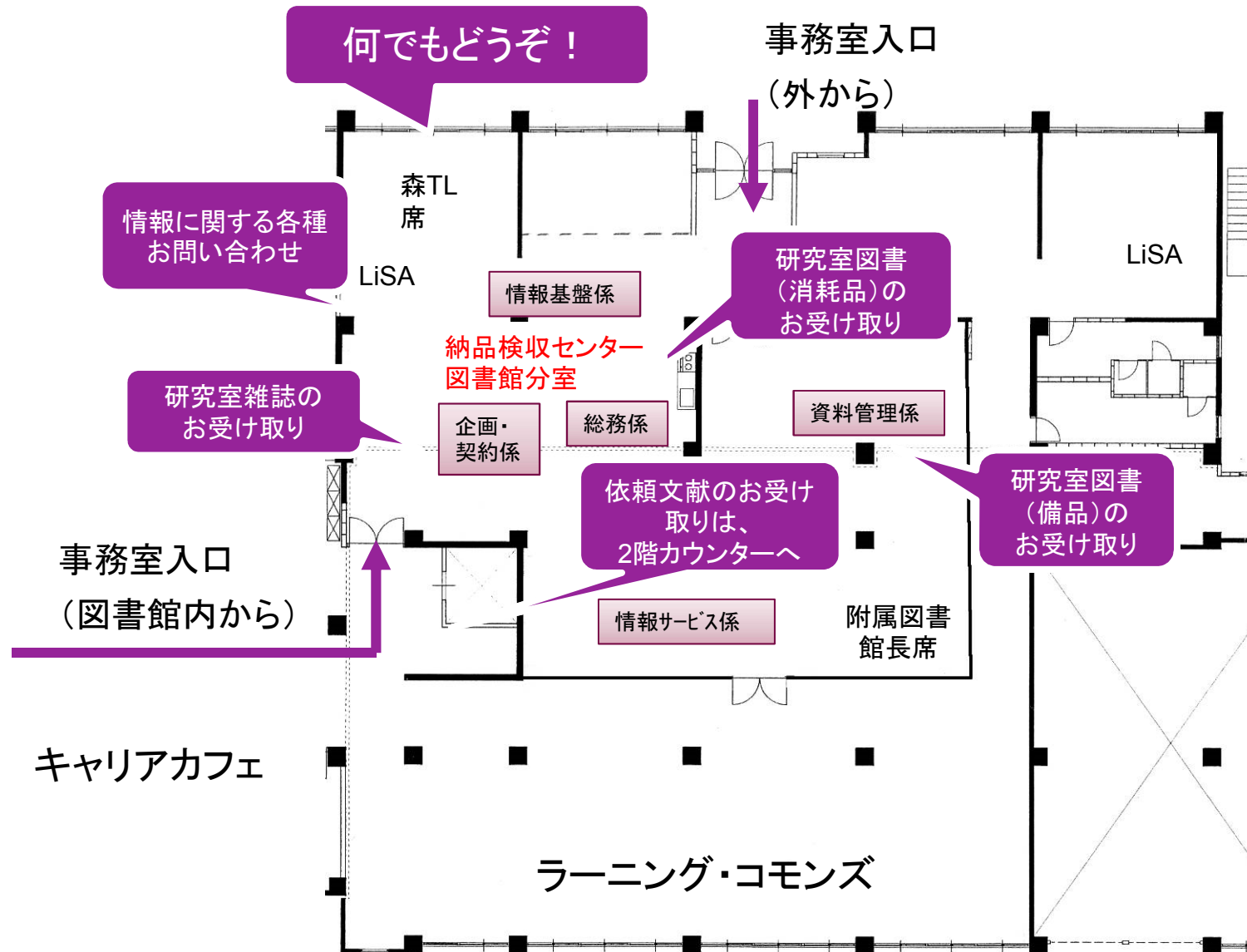


図書館の改修＝「壁」を壊した図書館-2

【2008年3月時点】



図書・情報チーム 事務室 (図書館1階)



図書館のLearning Commons: [共に学び・共に成長する]-1

● Commonとは

- 語源: communis: 共有の、共通の、共同の
Cum(と一緒に、共に) + munus(義務、責任)

[出典] SPACE ALC 語源辞典

⇒共に責任を果たす

● ラーニング・コモンズとは

- コモンズ: 地域共同体を示す概念。共有地、公共の広場を意味する。
- 図書館や大学などの施設で自学学習をする利用者の利用目的や学習方法にあわせ、図書館資料やICT(情報通信技術)を柔軟に活用し、効率的に学習を進めるための人的な支援を含めた総合的な学習環境のこと。

[出典] Japan Knowledge

ニッポニカプラス

⇒共に学び・共に成長する

- ・リーダーシップ教育のキーワード “Migakazuba”
Respect for others(心遣い) / Intelligence(知性) / Confidence(しなやかさ)
- ・リーダーに必要な力 = 共にあることで育まれる

by羽入学長

図書館のLearning Commons: [共に学び・共に成長する] -2

- お茶大は全国に先駆けて設置(2007年)

- 現在では200以上の大学が設置(ここ3年で2倍)
- アクティブ・ラーニング・スペースと総称される

- お茶大は3つのエリアで構成

- ラウンジ

- ゆったりとした寛ぎのスペース
- 新聞やマガジン、大テーブルやソファなど

- キャリアカフェ(2007年12月)

- おしゃれな雲型テーブルとカラフルな椅子、レイアウト自在のグループ学習の場
- 図書館の本や自動貸出ロッカーパソコンを持ってきて学習に使える

- ラーニング・コモンズ(2007年4月)

- 情報基盤センターのパソコンが約70台
- クイックスタンドPC、自習用PC、講習会にも使えるエリアなど

・1日の平均入館者数:
約1,000名
ピーク時:約2,000名
・ラーニング・コモンズ/
キャリアカフェ設置
(06→09年度)入館者
60%増

Learning Commonsもいろいろ

入口付近に
スタンドPC



ソシオフーガル?
ソシオペタル?



お互いに顔を合わせない
集中してレポート作成

講習会にも
使える
スペース



キャリアカフェの使われ方-1



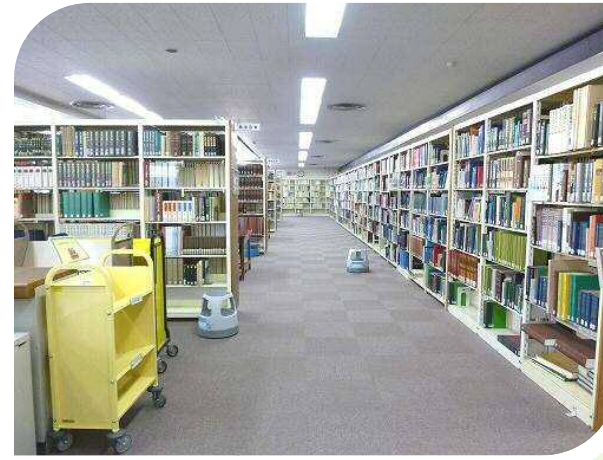
キャリアカフェの使われ方-2



アクティブ・ラーニングの例
学生主導の
「マーケティング講座」
テーマ:新しい商品開発

図書館の2階：伝統的な図書館

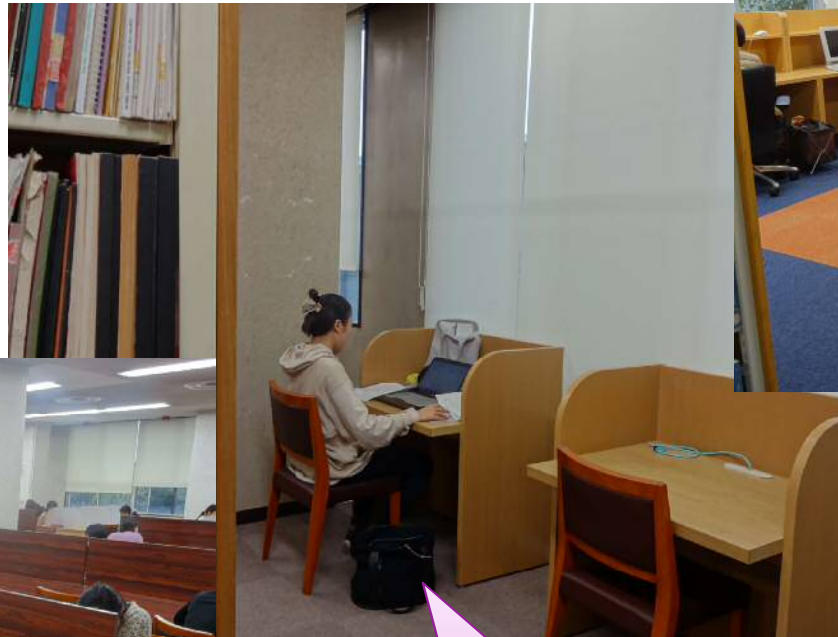
- ・2階は学習のためのスペース
- ・本学蔵書68万冊のほぼ半数を所蔵
- ・文庫、新書、ビデオ、DVD等もあり



さまざまなタイプの机・スペース

ソシオフーガル？
ソシオペタル？

前に衝立が
あるテーブル



大学院生
スペース

壁際の
一人用キャレル



改革の3つの柱

- 空間機能・・・だけではない
- 蔵書・コンテンツ
 - 学生用図書 の 充実
 - 21世紀型リベラルアーツのテーマに応じた多彩な資料
 - 研究用コンテンツ の 充実
 - 電子ジャーナルのタイトル:2400→13,000
- 人的支援
 - 学生インターンシップの枠組で図書館サポーターを組織 (LiSA: Library Student Assistant)
 - 4月～9月、10月～3月 年2回募集
 - 2007年11月スタート(第1期:13名、現在第13期:39名)
 - 合計186名(のべ409名)が参加
 - ラーニング・コモンズのヘルプデスクを設置
 - ラーニング・アドバイザー(TA)がPC等のトラブル解決

LiSA (Library Student Assistant) の活動風景

- 学生と図書館スタッフの協働による図書館活性化のための活動
 - 図書館の裏側を知る(図書装備、書架整理、修理、データ入力)
 - キャリア意識形成: サポートされる側からサポートする側へ

自主企画
ミーティング中



本の修理の
講習会



LA(ラーニング・アドバイザー)の活動風景

● 情報基盤センターとの連携

- ラーニング・コモンズに、ラーニング・アドバイザーが常駐
- ラーニング・コモンズ(約70台のPC)の管理
- ノートPC(70台)自動貸出ロッカーの設置と管理



皆さんに質問です(2)

- 人的支援について
 - LiSAって知っていた？
 - やってみたい？
 - ラーニング・アドバイザーって知っていた？
 - どんなサポートをしてほしい？
 - 図書館のレファレンスサービスって知ってる？

皆さんに質問です(3)

- 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？
 - 学修空間：アクティブラーニング（能動的学修）のために必要なスペース（複数選択可）
 - パソコンを使って自習／共同学習ができる空間
 - パソコンやプロジェクタを使った授業（ワークショップ）ができる空間
 - キャリア支援・キャリア教育のための空間
 - 学習サポートのためのオープンな空間／個別空間
 - 集中して学習／研究するための個別空間
 - 学習研究の成果物を作成するためのラボ（大型プリンター等）
 - e-ラーニングのための空間
 - ICT教室
 - その他

皆さんに質問です(4)

- 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？
 - －コミュニケーションスペース(複数選択可)
 - オープンなコミュニケーションスペース
 - 飲み物を飲みながらコミュニケーションができるスペース
 - 軽食を食べながらコミュニケーションができるスペース

それは「図書館にあるからいいの？」

「図書館でなくても、学内のどこかにあればいいの？」

お茶の水女子大学のアカデミズム の象徴として：将来に向けた3つの課題

- 蔵書・コンテンツ
 - 学内24か所の図書室に分散した蔵書の集約化によるサービス向上とコスト削減（「外部評価報告書」でも指摘）
 - 電子的コンテンツの更なる充実
 - シェアードプリント（複数の大学で蔵書を分担保存）の導入の検討
- 空間機能
 - アクティブ・ラーニングを支える空間機能の拡充
 - 教員、学生、職員が集うコミュニケーションの場
- 人材育成
 - アクティブ・ラーニングを支えるピアサポートの仕組み作り
 - 新しい環境の中で創造的適応をしていくための人材育成

「共に学び・共に成長する場」であり続けるために・・・
新しい価値創造に向けて、新図書館構想WGで検討中

ありがとうございました

これからも、図書館をぜひ
活用してください

お茶大図書館Webサイト:

<http://www.lib.ocha.ac.jp/>

